

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人權課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	「社会教育法」第3条・第5条の規定	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと	終期		
(小項目)		生涯学習			
施策	1	生涯学習の推進			
基本事業	1	学習活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 20歳以上の市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	各種学級に参加する人がそれぞれ豊かな心を育み、生きがいを感じながら健康的に人生をすごしていると実感できること。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		学級学習の内容を有意義と思った割合	91.9	92.0	92.0	92.0	93.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	女性学級10学級、成人学級3学級、高齢者学級8学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員がコーディネーターを行うとともに、学級長が自主的に学級運営を行った。また、年度末のアンケート調査や各学級参加者等による話し合いにより学習ニーズを把握し、次年度の学習計画に反映した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
	1 学級開設数	21	21	21	21	21	学級
	2 学級参加延べ人数	3,492	3,648	4,000	4,000	4000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	学級学習の内容を有意義と思った割合	91.9	85.7	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		93.2	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	449	424	551	551	551	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	449	424	551	551		551
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		2,664	2,664	2,664	2,664	2,664	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		3,113	3,088	3,215	3,215	3,215	千円	

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	各種学級のコーディネーター(社会教育指導員)と学級長、公民館長などが上手く連携できており、今後も、市民ニーズにあった学級内容や学級運営に努めていく。また、2年に1度発行し、市内の各家庭に配布している「市民ガイド」に現在開講している各種学級を掲載し、新たな市民が参加してもらえるように努めている。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	各種学級を開設することによって、高齢者をはじめとする市民の生涯学習の機会を与えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 生涯学習の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	各種学級終了後のアンケート調査では、受講生の85%が満足している。
<input checked="" type="checkbox"/>		① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	受講生が固定化・高齢化してきている傾向にある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	① 各学級受講生の固定化・高齢化が見られる。 ② 平成25年度は前年に比べ、学級学習の内容を有意義と思った割合が低下していることから、各学級の講座構成を検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	① 新たな受講生を増やすために、各学級開設公民館での周知広報を強化する。 ② より受講者の満足度を向上させるため、講座内容を調査検討しニーズに応えることができる内容としていく。			